



JPI催しのご案内

2022
5

公益社団法人日本包装技術協会

— 2022年度の本催しについて —2022年度につきましても引き続きウェビナー（WEBセミナー）で
皆様に情報発信をさせていただきます。**●開催要領****日 時** 令和4年5月30日(月) 13:00~17:00 / 令和4年5月31日(火) 10:00~12:00**参加費** JPI法人・個人会員：無料 / 一般：11,000円(1部会、税込) **定 員** 500名**5月30日(月) 13:00~17:00** ※ウェビナーが2つあります。 **JPI本部主催****①【テーマ】食品用器具・容器包装のポジティブリスト制度について**

平成30年6月に公布された食品衛生法等の一部を改正する法律により、ポジティブリスト制度(PL制度)が導入され、令和2年6月1日から施行されました。このPL制度については、令和4年3月23日に開催された、薬事・食品衛生審議会器具容器包装部会において、ポジティブリストの再整理等について議論されたところです。講演では、部会で議論された内容を含め、PL制度への対応等について説明させていただきます。

【講 師】厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品基準審査課 課長補佐 **今 西 保 氏****②【テーマ】食品衛生法のポジティブリスト制度と食品接触材料安全センターの活動について**

食品用器具及び容器包装において、2018年6月の改正食品衛生法で、ポジティブリスト管理への移行が示され、2020年6月に合成樹脂製の器具及び容器包装について施行されました。現在は2025年5月末までの経過措置期間ですが、完全施行に向けて、制度運用上の課題の解決に向けて検討が進んでいます。食品接触材料安全センターは、これらの制度運用上の課題の解決に向けて、食品接触材料に関連する事業者である会員の皆様の声を集めて積極的に行政当局へ協力していくと同時に、会員の皆様への情報提供や個別相談等の支援を行ってまいりました。また、ポジティブリスト制度を運用するために必須の情報伝達の仕組みとして旧衛生協議会が担ってきた自主基準による確認証明書の制度を承継するとともに、国のポジティブリストに対する適合確認にも対応していきます。これらの食品接触材料安全センターの活動についてご紹介いたします。

【講 師】一般財団法人化学研究評価機構 食品接触材料安全センター 企画調整室長 **梶 原 健 世 氏****5月31日(火) 10:00~12:00** **JPI本部主催****【テーマ】プラ資源循環促進法と循環経済に向けた政策について**

多様な物品に利用されているプラスチックという素材に着目し、製品設計からプラスチック廃棄物の処理に至るまでの各段階において、あらゆる主体におけるプラスチックの資源循環等の取り組み(3R+Renewable)を促進するための措置を講じるべく、本年4月より「プラスチック資源循環促進法」が施行されました。本法律によって事業者に求められる取り組みなどの制度概要をご紹介させていただくとともに、循環経済(サーキュラー・エコノミー)への移行に向けた政策動向についてご紹介させていただきます。

【講 師】経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課 総括補佐 **吉 川 泰 弘 氏****申 込 要 領**

- ◆お申込は当会ホームページより、先着順とさせていただきます。
- ◆お申込みが定員に達した場合、一社における参加人数に制限を持たせて頂く場合があります。
- ◆お申し込みは、JPIWEBフォーラム開催3日前までをお願いします。

個人情報の取扱いについて

- 1) 個人情報は「公益社団法人日本包装技術協会 JPIWEBフォーラム」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。
- 2) 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合等を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

参加申し込み方法と注意事項

- ・本催しはwebを使用してのオンライン講演会(ウェビナー)になります。申し込みは当会ホームページのJPIWEBフォーラム参加申込ページより登録いただくようお願いいたします。申込者にはウェビナー開催の2日前頃に「ウェビナー招待メール」をお送りしますので、**メールアドレスの入力を間違えてしまうと登録できずメールをお送り出来ません**のでご注意ください。
- ・お送りする「ウェビナー招待メール」にて、**参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。
- ・その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願い致します。

当会ホームページ URL : <https://www.jpi.or.jp/>**◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆**〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
公益社団法人日本包装技術協会 担当：佐藤 TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <https://www.jpi.or.jp/>

JAPAN PACKAGING CONTEST 2022 THE 44th



2022日本パッケージングコンテスト

主催  公益社団法人 日本包装技術協会 (第44回)

後援 (申請予定) 経済産業省、日本商工会議所、日本貿易振興機構(ジェトロ)、公益財団法人日本生産性本部、
公益社団法人日本パッケージデザイン協会、公益社団法人日本マーケティング協会、
公益社団法人日本グラフィックデザイン協会、公益財団法人共用品推進機構、
世界包装機構、アジア包装連盟

6大特色

1. 優秀の目印はGPマークで GOOD PACKAGING

本コンテストは、日本パッケージ技術の最高水準を決定するものです。材料、設計、技術、適正包装、環境対応、デザイン、輸送包装、ロジスティクス、販売促進、アイデア等あらゆる機能からみて年間の優秀作品(グッドパッケージング賞)を選定するもので、最高賞のジャパンスター賞をはじめ入賞作品にはすべて優秀の証として、GPマークの使用が認められます。

2. 最優秀作品に経済産業大臣賞を授与(交付予定)

入賞作品のうち、最優秀作品には経済産業大臣賞(交付予定)が授与される他、経済産業省産業技術環境局長賞(交付予定)や経済産業省製造産業局長賞(交付予定)等が優秀作品に授与され、本年度の最優秀パッケージとして国内外に広く紹介されます。

3. パッケージデザインからロジスティクスまで

本コンテストは、個装から外装まで、すなわち生活者包装、輸送包装等、包装の全てを網羅しています。「デザインからロジスティクスまで」これは本コンテストの最大の特色です。

4. 環境問題・CO₂削減に対応した適正包装の特に優れた実例を!

環境問題、生活者のための包装を意図し、機能を満たし、かつ包装の容積、重量、コストを軽減すると共に省資源化、省力化の要請に応じた商品別適正包装の実例で特に優れたもの、改善努力の著しいもの、また、これらの条件に加えて、輸送の分野においては、物的流通の近代化に寄与するためのシステム志向も重視されます。

5. 入賞作品を一般公開

入賞作品は、10月に開催予定の展示会『TOKYO PACK2022』特設コーナーの“2022グッドパッケージング展”への出品資格が与えられ、一般公開されます。また、海外展示会の特設コーナーでの展示も可能となります。

6. 世界の檜舞台へ“ワールドスターコンテスト”

2022日本パッケージングコンテストに入賞した作品は、ワールドスター2022コンテスト(毎年開催、主催:世界包装機構)への出品資格が与えられ、ワールドスターを目指して世界各国からの作品と競い合います。

